法人の業務実績の評価結果(案)の概要版

資料２

内容項目		評価委員会評価 H23	H24	H25	H26	全体	評価の判断理由
	全体評価	B	B	B	C		全体評価は、法人化を契機とした病院改革の取組に対し、法人運営が自律性や機動性を持って実施されているか、財務内容の改善がなされているかを評価した。その結果、10の大項目評価をさらに法定項目評価ごとに総合的に判断するなかで、法人化の重点要素である財務内容の改善において、さらなる取組を必要としたことから、全体評価としては「C」の「中期目標・中期計画の達成にはやや遅れている」とする。
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	1 市民のための病院としての役割の明確化	B	B	B	B	B	診療内容の高度専門化が進み、紹介率等も上昇し地域医療支援病院としての役割が果たせている。また、社会情勢や地域ニーズに応じ様々な業績を上げるなか、平成26年度の地域包括ケア病棟の設置等先を見通した対応もあるが、災害、感染症対応など市と連携した取組について積極的なアピールの必要性や、地域医療の核として高齢化社会を意識し診療体制の充実がさらに必要との判断から、大項目評価は(B)の「計画どおり」とする。
	(1)高度な総合的医療の提供	3	3	3	3		
	(2)地域医療支援体制の構築	3	4	4	4		
	(3)市と連携した政策医療の実施	3	3	3	3		
	(4)市内で不足する機能の補完	3	3	3	4		
	2 市の「安心の医療確保政策」 に基づく医療機能の整備	B	B	B	B		救急医療や心疾患の分野において、中期計画及び年度計画の目標値を上回っているほか、肝臓専門医の確保による肝疾患診療の充実、外科領域における新たな施術の導入など今後の成果が期待できる分野がある一方、高齢化に伴い増加するであろう呼吸器系医師の確保ができていないこと、救急車搬送件数は増加しているものの断り件数も相当あること、専門医だけでなく総合診療医の確保も課題達成に寄与するものではないかとの意見があることから、大項目評価は(B)の「計画どおり」とする。
	(1)がん	3	3	3	3		
	(2)脳血管疾患	3	3	3	3		
	(3)心疾患	4	4	4	4		
	(4)周産期・小児医療	3	3	3	3		
	(5)消化器系疾患	3	3	3	3		
	(6)呼吸器系疾患	2	2	2	2		
	(7)救急医療	4	4	4	3		
	3 利用者本位の医療サービス	B	B	B	B		電子カルテ導入以降診療時間等の管理が容易になり、患者等利用者の時間短縮が図られて満足度向上に寄与しているが、さらなる利用者満足度の向上に向けて改善を目指してほしいとの意見があることから、大項目評価は(B)の「計画どおり」とする。
	(1)医療における信頼と納得の実現	3	3	3	3		
	(2)利用者満足度の向上	3	3	3	3		
	4 医療の質の向上	B	B	A	A		電子カルテ導入による業務の効率化から生まれる時間と業務を医療の質の向上に活用する取組に期待したいといった提言があった。評価としては電子カルテの活用による誤認防止や情報の共有化、業務の円滑化が図られたことや、重大な医療事故や過誤もないこと、地域連携カンファレンスにおける地域への知識の普及、対策強化のサポートが実施されたことなどを評価し、大項目評価は(A)の「計画をやや上回っている」とする。
	(1)継続的な取組による質の向上	3	3	4	4		
	(2)医療事故や院内感染防止対策の徹底	3	4	4	4		
	(3)コンプライアンス(法令・行動規範の遵守)の徹底	3	3	3	3		
	5 地域とともに推進する医療の提供	B	A	A	A		地域包括ケア病棟の運用においては院内患者に留まらず、地域医療機関や在宅・介護福祉関係者の要望に応えてほしいといった意見があった。評価としては合同カンファレンスの開催回数及び参加者数が計画を上回っていること、紹介率や逆紹介率が目標値よりも10%以上上回った点、救急総合診療科が患者や家族に急変時対応コースを開催していることなど、地域医療に貢献している点を考慮し、評価を(A)の「計画をやや上回っている」とする。
	(1)地域医療機関との連携	4	4	4	4		
	(2)地域社会や地域の諸団体との交流	3	4	4	4		
	(3)積極的な情報発信	3	3	3	3		
第2 業務運営の改善及び効率化	1 総合力による医療の提供	B	B	A	A	B	情報の一元化と共有のさらなる推進と、情報の有効活用のためのフィードバック体制の確立、評価改善できる職員の意識改革が必要との提言はあったが、チーム医療と院内連携の推進及び情報の一元化は、計画を上回る評価を得ていることから、大項目評価は(A)の「計画をやや上回っている」とする。
	(1)チーム医療と院内連携の推進	4	4	4	4		
	(2)情報の一元化と共有	3	3	4	4		
	2 医療職が集まり成長する人材マネジメント	B	C	C	C		専門性が評価される勤務環境の整備、初期研修医の指導環境の充実やその研修医が定着する体制の構築等の必要があるといった提言がある。また、医療職確保において様々な取組を行うも、現段階において目標到達が厳しい状況である。加えて、医師の雇用形態の多様化等の環境整備の進捗も見えないなど、人事制度の整備においては、本格実施がこれからといった点において、大項目評価は(C)の「計画達成にはやや遅れている」とする。
	(1)医療職の確保	3	2	2	3		
	(2)魅力ある人材育成システム	3	3	3	3		
	(3)人事制度の整備	3	3	2	3		
	3 経営体制の確立	B	B	B	B		役員の責務や管理運営体制の構築には一定の成果は出ているものの、職員全員に執行部の方針が浸透しているかの検証が必要との意見もある。また、事務職の採用は計画どおり進んでいるが、人材育成や法人運営管理のノウハウの蓄積においては設立4年目で計画半ばということを考慮して、大項目評価は(B)の「計画どおり」とする。
	(1)役員の責務	3	3	3	3		
	(2)組織と管理運営体制の構築	3	3	3	3		
	(3)事務職の専門性の向上	4	3	3	3		
第3 財務内容の改善	1 業績管理の徹底	B	B	B	C	C	収支の改善は様々な対策等が取られているものの、最も重要な入院患者数や病床利用率が、中期目標期間の後半になって下降していていることや、経費のコントロールが不十分な点、診療報酬の査定率の悪化等改善すべき点が多いことから、大項目としては(C)の「計画達成にはやや遅れている」とする。
	(1)収支の改善	3	3	3	3		
	(2)管理体制の充実	3	3	3	3		
	2 安定した経営基盤の確立	B	A	B	D		中期目標期間の後半になって実績が下降傾向を示しているほか、中期計画よりも下方修正した年度計画を下回った結果となっていることから、大項目としては(D)の「計画の達成には大幅に遅れている」とする。
	(1)安定した経営基盤の確立	3	4	3	2		